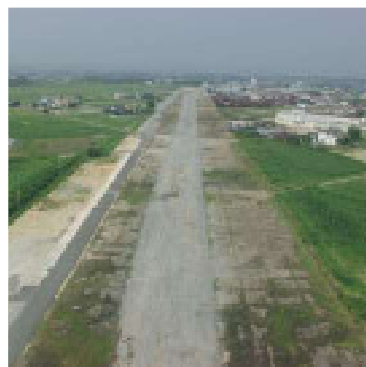
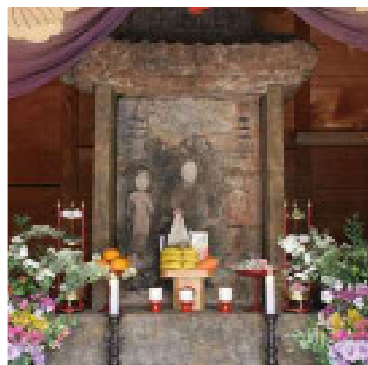
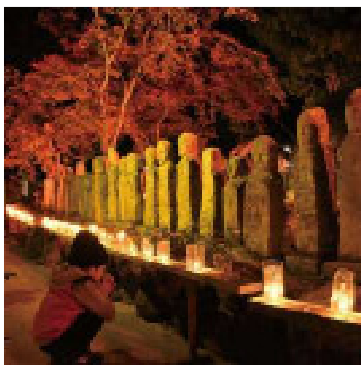


# 加西市歷史文化基本構想

【概要版】



平成30年3月  
加西市

# 「加西市歴史文化基本構想」策定の背景と目的

## ■ 歴史文化基本構想とは？

市域に残るさまざまな歴史文化遺産を、指定・未指定や有形・無形にかかわらず幅広く把握し、その周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用するためのマスタープランです。

## ■ 歴史文化遺産／歴史文化とは？

歴史上・芸術上・学術上などの価値が高い「文化財」だけでなく、皆さんの暮らしのなかで、大切に守り、受け継がれてきたすべての歴史・文化・自然遺産を「歴史文化遺産」、また、それらの歴史文化遺産と周辺環境とが一体となって作り出される環境を「歴史文化」と定義しています。

### 加西市の豊かな歴史文化遺産

加西市には、播州平野から中国山地に至る変化に富んだ地勢や豊かな自然環境のもと、畿内や瀬戸内海沿岸地域との古くからの交流などを背景に多種多様な歴史文化遺産が形成され、現在に受け継がれています。

### 抱える課題

- 歴史文化遺産の中には、社会情勢や生活様式の変化などで存続の危機に瀕しているものもあります。
- 歴史文化遺産をまちづくりや観光、教育等に十分には活かせていません。

## 背景

### ◆ いま、私たちに求められていること

- ▶ 加西市の歴史文化遺産を  
いかに効果的に、まちづくりや観光、教育に活かすか
- ▶ 加西市の歴史文化遺産に  
いかに磨きをかけて、次の世代に受け渡すか
- ▶ 加西市の歴史文化遺産を  
次の世代へと伝える人材を、いかに育むか

## 目的

加西市の歴史文化を活かしたまちづくりに係るさまざまな主体が、目標や方針を共有し、連携・協力して、長期的かつ計画的に歴史文化遺産を保存・活用し、個性あふれる魅力的なまちづくりを進めるための総合的な方針として、「加西市歴史文化基本構想」を策定します。

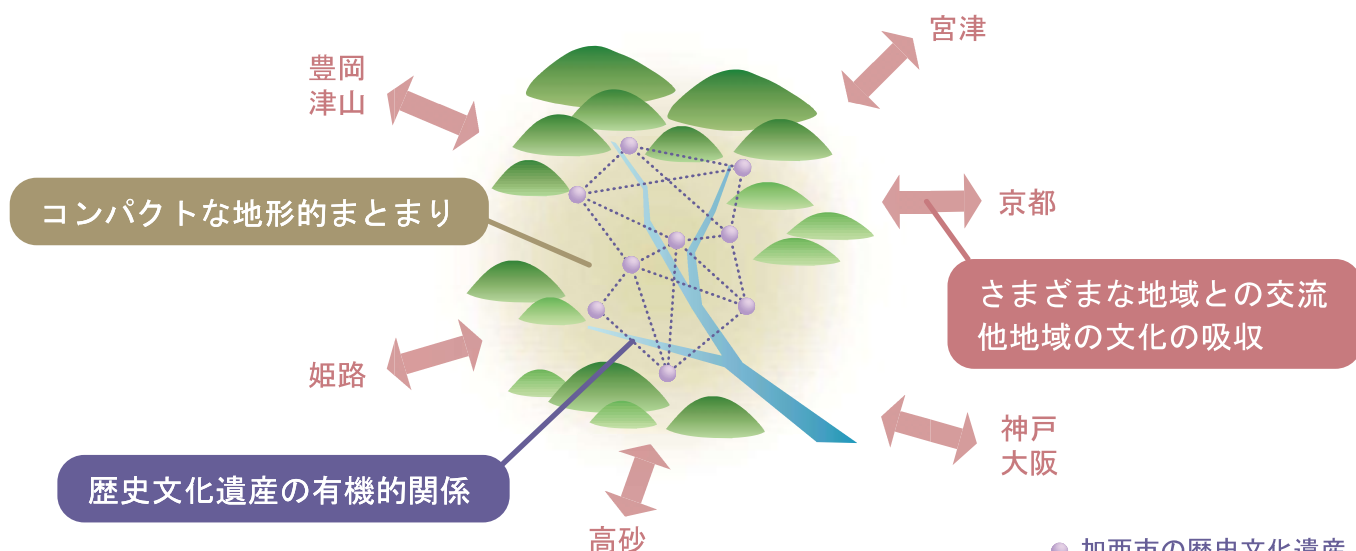
# 加西市の歴史文化

- 加古川や市川へはいくつかのルートが開けて瀬戸内海や日本海とつながり、近世の北条に集まる街道筋などを介して、京都や大阪、姫路などの政治・文化の中心的地域をはじめとした多くの地域との交流が繰り返されてきました。
- 畿内に近い大国播磨に位置することから、早くから高度な仏教文化が花開き、播磨六カ寺である一乗寺、普光寺や、酒見講の中心となった酒見社（住吉神社・酒見寺）が位置するなど、播磨国における法会などの中で重要な役割を担ってきました。
- 瀬戸内海臨海部にほど近い内陸に、利用し易い平地・台地状の広がりをもつという好条件のもとに、臨海部における政治や産業、軍事の拠点を支える後背地としての役割を担い、わが国の歴史の重要な断片を構成してきました。
- 北に多可郡との境界をなす山々がそびえ、東に青野ヶ原台地、西や南も山によって区切られた加西市では、人々は限られた土地に自然への信仰と生活の場を築き、地域内で産する石材を用いた石棺を古墳に埋葬し、さらには石棺を石仏等に転用したり、数多くのため池を築いて耕作地を整えるなど、各時代を通じて豊かな自然の恵みを大切にかつ巧みに使いこなしてきました。
- 近世の非領国型支配の中においても自治の精神を育み、人と人との絆を深めながら、村の祭礼・行事等を大切に受け継いできました。



## 加西市の歴史文化の特徴

さまざまな地域との交流を通じて、他地域の文化を取り入れながら発展し続け、コンパクトな地形的まとまりの中で、さまざまなひと・もの・こと（歴史文化遺産）が有機的に関係し合う個性豊かな歴史文化





# 歴史文化を活かしたまちづくりの目標と方針

## 目 標

- ◆ 加西らしい歴史文化を活かして、豊かな生活環境をつくり、地域活力を向上する
- ◆ 加西に受け継がれてきた歴史文化に磨きをかけて、次の世代に受け渡す
- ◆ 加西の歴史文化を大切に守り、活かす「加西人<sup>かさいじん</sup>」を育てる

## 方 針

### 歴史文化を身近に想う

加西市の歴史文化の価値や魅力を再認識し、地域の「宝もの」として、市民を中心に、さまざまな主体が連携・協力して保存・活用に取り組むための基盤をつくります。

#### 調べる

歴史文化遺産の継続的な調査を進め、保存・活用の取り組みを後押しする新たな価値や魅力の発見に努めます。



遺跡の発掘調査



ウォーキングによる歴史の再発見

#### 学ぶ

歴史文化に関心をもち、自ら進んで学び、知識を深め、加西市や地域に対する誇りと愛着を育みます。



歴史文化に関するシンポジウム



小学生による歴史ガイド

#### 考える

歴史文化をまちづくりに活かしながら守り、育み、豊かな生活環境づくりや地域活力の向上につなげる方法を考えます。



地域住民によるワークショップ



ふるさと創造会議の円卓会議

両輪

### 歴史文化の魅力を育む

個々の歴史文化遺産とそれらが相互に関係し合っけつくり出される魅力を高め、地域内外に発信し、定住促進、観光振興、産業振興などにつなげます。

#### 整える

歴史文化遺産を活用するための環境を整え、周辺の景観の保全・形成等に取り組み、歴史文化遺産の魅力向上を図ります。



地域での維持管理の継続



史跡の整備

#### 発信する

歴史文化情報を地域内外に発信し、歴史文化を活かしたまちづくりの機運の向上や移住者・観光客の増加等につなげます。



パンフレットの作成



案内板・解説板の設置

#### 使いこなす

歴史文化遺産相互のつながりや関係する主体・地域のつながりを創出し、活用の効果を最大限に発揮します。



ハイキングコースの整備



新たな歴史文化の育成

## 展開イメージ

「市による先導と基盤づくり」、「関連文化財群を通じた取り組み」、「取り組み推進のための仕組みと体制」の3点をもとに、方針に基づく取り組みを計画的かつ効果的に進めて、目標の実現化を図ります。

### 市による先導と基盤づくり

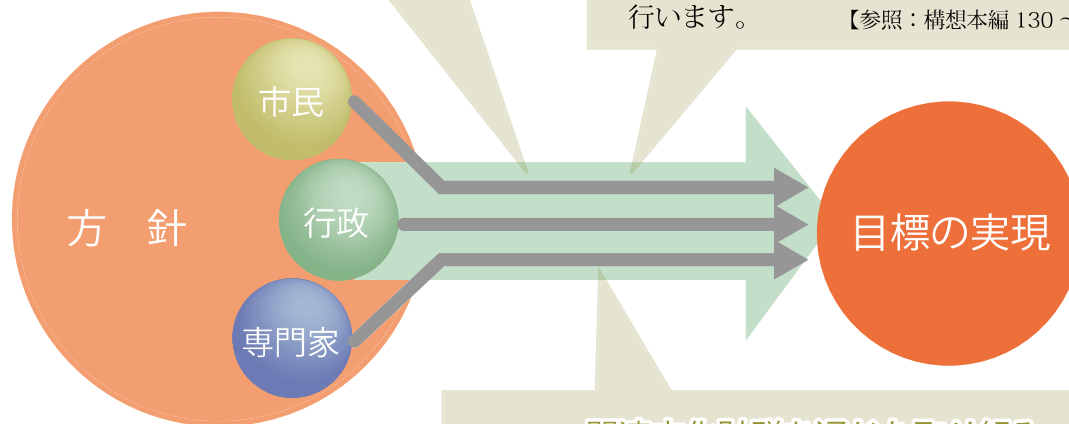
市による計画的な施策展開を通じて、各主体の取り組みを先導し、支えます。

【参照：構想本編 66～70 ページ】

### 取り組み推進のための仕組みと体制

歴史文化保存活用区域の設定・保存活用計画の策定や防災体制・推進体制の整備等を通じて構想に基づく取り組みを推進し、その進捗管理を行います。

【参照：構想本編 130～133 ページ】



### 関連文化財群を通じた取り組み

各主体の取り組みを束ね、市域レベルと地区レベルの2つの視点から、目標の実現に向けた取り組みを効果的に推進します。

【参照：構想本編 71～129 ページ】

## ■ 関連文化財群とは？

さまざまな歴史文化遺産を歴史的・地理的関連性に基づき、一定のまとまりとして捉えたものです。

## ◆ 加西市における関連文化財群の設定の考え方

加西市では、「加西市の関連文化財群」と「地区の関連文化財群」の2つの関連文化財群を設定します。

加西市歴史文化基本構想本編では、「加西市の関連文化財群」について、具体的に設定をしています。

「地区の関連文化財群」については、今後、市や専門家等の支援のもとに、ふるさと創造会議や町・区などが中心となって設定していくことが求められます。

### 加西市の関連文化財群

加西市の歴史文化の魅力を国内外に広く発信しながら、戦略的に地域振興・観光振興等に取り組む手掛かりとなるまとまり

### 地区の関連文化財群

地区の歴史文化の魅力を各地区の住民が共有しながらまちづくりに活かし、良好な居住環境の形成等に取り組む手掛かりとなるまとまり

具体的な設定は  
次ページ

# 加西市の関連文化財群

3つのテーマのもとに、9つの歴史文化ストーリー（テーマをより具体化したまとめ）を設定しています。

## テーマ

## 歴史文化ストーリー ●：構成する歴史文化遺産の類型

### 自然を活かし、共に楽しむ

先人たちは、加西の豊かな自然を巧みに利用し、石の文化や自然豊かな景観を育み、農業やものづくりのなかで、人を含めた多様な生物が共に生きる文化といった、加西の個性あふれる歴史文化を築き上げてきました。

その精神を受け継ぎながら、「楽しみ」という新たなスパイスを加えることで、より一層魅力的な歴史文化に育んでいきます。

### 石の文化

- 市内各所に残る石造物
- 遺跡から出土する石器等
- 石材とその産地
- 伝承をもつ岩



### 人々の営みが育む景観

- 土地利用の知恵を伝える遺跡・ため池
- 自然との関わりを伝える資料
- 自然に馴染む建造物



### 豊かな自然の恵み

- 農地を潤すため池・用水路
- 豊かな農産物
- 自然の恵みが育むものづくり
- 貴重な自然・生態系



### 史実と伝承で磨きをかける

大国播磨の一面を占める加西は、古くから多くの人や物、情報が行き交い、わが国の歴史の数々の事象にさまざまな形で関わりながら、史実や伝承を積み重ねてきました。それらは、各時代における加西の役割や位置づけを如実に反映し、加西の歴史文化のアイデンティティとなり得るものです。

史実や伝承をもとに、加西の歴史文化の魅力を紐解き、共有し、より一層磨きをかけて、全国・世界へと発信していきます。

### 大国播磨と風土記

- 播磨国風土記の地名伝説
- 地域の有力者を埋葬した古墳群
- 古代権力を象徴する寺院等
- 大国播磨を支えた播磨六カ寺と酒見社



### 道が育む文化

- 地域内外をつなぐ街道・古道
- 道が育んだ芸能
- 多くの人々の往来を物語る道しるべ
- 街道・古道の要衝に発展した町並み
- 近代加西の発展を支えた鉄道



### 中近世の歴史の表舞台

- 足利尊氏の東上
- 赤松氏の盛衰
- 秀吉による天下統一と後藤又兵衛
- 赤穂事件



### 安寧を祈る心を伝える

加西に広がる農村風景には、数々の信仰の空間が存在し、古くからの人々のつながりにより神事や祭礼が現在に伝えられています。また、一方で鶉野飛行場跡をはじめとする戦跡には、往時の痛ましい記憶とともに、平和への祈りが刻み込まれ、大切に受け継がれています。

各時代に生きた人々の思いが込められたそれらの空間や活動がもつ意味や精神をしっかりと理解した上でまちづくりに活かし、次の世代に伝えていきます。

### 氏神の信仰と祭礼

- 各地域の神社
- 代表的な祭礼・神事



### 高度な仏教文化

- 山岳信仰と修験道
- 石仏と念仏信仰
- 早くからの仏教文化の受容
- 巡礼
- 播磨六カ寺と各地域の寺院
- 古くからの天台宗寺院の行事



### 大戦の記憶と平和学習

- 第一次世界大戦に関連する遺跡等
- 第二次世界大戦に関連する遺跡等





## 保存・活用の取り組みの方向性（例）

### 歴史文化を身近に想う

- 調** さまざまな石造物や近世・近代の石工に関する古文書、茅葺民家や近代繊維工場等の歴史的な建築物や古庭園、農村集落の景観、暮らしと自然との関わりの歴史などの調査を進めます。
- 学** 学校教育や生涯学習等を通じて、子どもから大人まで、幅広い層の人々が地域の自然に触れ、各歴史文化ストーリーについて学ぶ機会を提供します。
- 考** 各歴史文化ストーリーに応じたさまざまな主体との連携を図りながら、より効果的な保存・活用の取り組みを進める仕組みや方策を検討します。

### 歴史文化の魅力を育む

- 整** 各歴史文化ストーリーの保存・活用の拠点となる施設や区域を設定し、歴史文化遺産の保存や良好な景観の形成等を図るとともに、関連する歴史文化遺産を巡る周遊ルートの整備等を進めます。
- 発** 加西の美しい景観を創り出す背景となった自然の特徴や人の営み、また、現在行われている活動などを含めた一連のストーリーとして発信し、訪れる人がさまざまな魅力を体感できるものとします。
- 使** 歴史的な町並みや豊かな自然環境を舞台としたさまざまなイベントの開催・充実を図り、さまざまな主体との連携のもとに、多様なニーズを想定した体験型・着地型の観光メニューや新たな観光商品の開発等を進めます。

- 調** 市域に存在する中央の歴史に関わる歴史文化遺産や伝承をもつ歴史文化遺産、各種遺跡と歴史資料との関連性、街道や古道などの調査を進めます。
- 学** 日本や兵庫県、播磨地域等の広域の歴史や文化と加西市との関係を整理して、学校教育や生涯学習等の教育の場やWeb等を用いた情報発信等に、積極的に活用します。
- 考** 街道や鉄道の沿線地域での一体的なまちづくりを推進するための検討・協議・調整の場づくり等を検討します。  
関連する自治体との連携・協力体制を築き、一体的な取り組み方策について検討します。

- 整** 古代の集落遺跡や古墳の環境整備、城跡の保存整備やアクセス道の整備、街道筋の町並みの保全・形成などを通じて、各時代の人々の暮らしの様子を体感できる場づくりを進めます。
- 発** 街道・古道や風土記と遺跡、寺院等を関連づけた周遊ルートの設定、ホームページでの歴史文化ストーリーの発信、歴史ウォークの開催などを通じて、歴史文化ストーリーの魅力を積極的に発信します。
- 使** 街道・鉄道の沿線地域が一体となった取り組みや、関係する近隣市町と連携した取り組みなど、それぞれの歴史事象に関係する主体が連携して、広域的な視点を踏まえた地域プロモーションを展開します。

- 調** 伝統的な祭りや行事等と寺社境内や集落等の関係、巡礼道、講などの民間信仰などの調査を進めます。  
戦争に関連する資料・遺跡の収集・整理・データベース化を進めます。
- 学** 伝統的な祭りや行事の信仰の精神も含めて学べる機会、また、戦争体験者等の講演会や関連資料の展示・公開、戦跡を巡る歴史ウォークなどによる戦争の悲惨さや平和の大切さを学べる機会を増やします。
- 考** 課題を抱えている祭礼・行事等について、市民・行政・学識者等と一緒に対応を検討する場を設けます。  
戦争・平和について自ら考え、意見を交換し、交流する場を設けるなど、戦争の記憶と平和への思いを受け継ぐ担い手を育みます。

- 整** 伝統的な祭りや行事等と周辺環境とが一体となった魅力の保全・形成に努めます。  
鵜野飛行場跡地等は、観光・平和学習施設や防災拠点、地域住民の憩いの場としての整備を進めます。
- 発** 伝統的な祭りや行事等の価値や魅力を分かりやすく整理し、ホームページやパンフレット等で発信します。  
鵜野飛行場跡地等がもつ平和祈念としての重要性を広く国内外に発信します。
- 使** 氏子や檀家等の人と人とのつながりを活かし、より強靱な地域社会の基盤づくりにつなげます。  
鵜野飛行場跡地等はフィールドミュージアムとして活用するとともに、ボランティアガイドを育成し、観光振興に活かします。

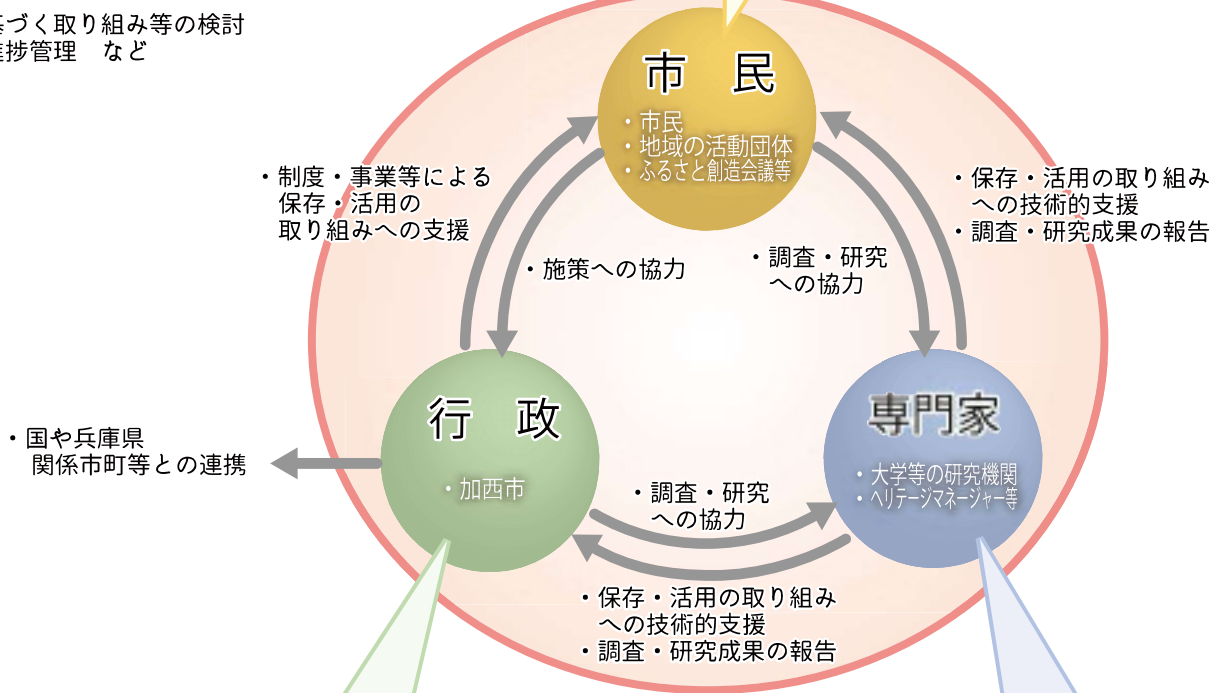
# 各主体の役割と構想推進に向けた連携体制

構想の推進にあたっては、各主体がそれぞれの役割を認識して取り組むとともに、その取り組みをより一層効果的なものとするために、「(仮称)加西歴史文化まちづくり推進協議会」を組織して、具体的な方策等の検討や進捗管理等を行います。

- 市民一人ひとりが歴史文化の担い手であることを認識し、身近な歴史文化遺産の維持・管理から着実に取り組みます。
- 行政や専門家、活動団体やふるさと創造会議等の活動に協力・参加し、地域の歴史文化に誇りと愛着をもって育み、活かします。
- 地域の活動団体は、対象とする地域やテーマの歴史文化を継続的に学び、活かすとともに、情報発信や団体間の交流等に積極的に取り組み、活動のより一層の充実に努めます。
- 町・区の組織やふるさと創造会議等は、地区の関連文化財群の検討・設定等を通じて、地区における歴史文化を活かしたまちづくりを中心となって牽引します。

## (仮称) 加西歴史文化まちづくり推進協議会

- ・ 構想に基づく取り組み等の検討
- ・ 構想の進捗管理 など



- 関係する部局や自治体等と連携して、計画的な取り組みを推進し、加西市の歴史文化の価値や魅力の維持・向上を図るとともに、観光や産業の振興、定住促進などへと展開します。
- 各主体の取り組みを後押しするための制度や事業等の仕組みを整えます。

- 加西市の歴史文化の調査・研究を継続的に実施して、その魅力を深めるとともに、成果を分かりやすく発信することで、市民を中心とした活動の原動力としていきます。
- 豊富な知識と経験を活かし、加西市の歴史文化を活かしたまちづくりを適切な方向へと導きます。